

平成31年度事業計画

I はじめに

我が国の経済は、今年10月に消費税率の引き上げが予定されている中、経済の回復基調が持続するよう当初予算において臨時・特別の措置を講ずるなどの政策効果もあいまって、雇用・所得環境の改善が続き、経済の好循環が更に進展する中で、内需を中心とした景気回復が見込まれます。

一方、急速に進む少子高齢化そして人口減少、労働力減少に向かう中で、社会・経済の維持発展を図るためには、高年齢者の労働能力をいかに活用するかが、重要な課題となっており、地域に密着した就業機会を提供するシルバー人材センター事業は、ますます重要性を増し「生涯現役社会」の実現に大きな役割を果たしています。

しかしながら、定年延長や再雇用制度等社会の雇用環境の変化の影響もあり、全国的にも会員数は依然として伸び悩み傾向であり、会員の拡充と就業機会の確保は恒常的に取り組んでいかなければならない課題です。

今後も、活力ある地域社会づくりになくてはならない存在となるよう「自主、自立・共同、共助」の理念のもと、会員・役職員が一体となって事業の推進に取り組んでまいります。

II シルバー人材センター事業

基本方針

- 1 就業の機会を確保し、組織的に提供します。
- 2 就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を実施します。
- 3 安全就業、適正就業を実施します。
- 4 社会奉仕活動等を通じて、高年齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るため、必要な事業を行います。
- 5 前項の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営を行います。
- 6 その他センターの目的を達成するために必要な事業を実施します。

事業目標

平成31年度の事業目標を次のとおり設定します。

平成31年度事業目標

1 会員数	1, 140人		
2 契約金額	514, 221千円	}	シルバー事業 410,000千円
			労働者派遣事業 3,500千円
			指定管理事業 87,661千円
			ファミリーサポート事業 13,060千円
3 就業延人員	92, 700人日		
4 就業率	82.0%		
5 安全就業	事故件数 0件		

具体的事業

1 就業開拓・提供事業

(1) 受託事業

公共団体、民間事業所からの継続契約については、関係団体、事業所との関係を密にし、契約の継続維持を図るとともに、新たな仕事の獲得にも努めます。

(2) 一般労働者派遣事業及び職業紹介事業

国が進めるシルバー人材センター事業の考え方や「適正就業」の指導強化等の状況からも、今後さらに派遣事業の拡大に努めます。また、職業紹介事業についても取組みます。

(3) 介護保険事業

介護保険事業に係る資格の活用と女性会員の就業機会の拡大のため訪問介護及び第一号訪問介護事業を引き続き実施いたします。また、同事業に従事できる人材の育成に努めます。

(4) 福祉・家事援助サービス事業

進展する少子高齢化の中、必要とされる生活支援の担い手の一員として会員が、福祉・家事援助、子育て支援、おたすけ隊等で、ニーズにマッチしたサービスの提供に努めます。

(5) 指定管理者受託事業

水戸市から再指定を受けた水戸市大町・本町子育て支援・多世代交流センター「わんぱく・みと」「はみんぐぱく・みと」の2施設の運営について適正な運営管理を行います。また、引き続き会員の就業機会の確保に努めます。

(6) ファミリーサポート事業

ファミリーサポート事業は「仕事と子育ての両立」「育児負担の軽減」などを目的に、育児支援に実績のあるシルバー人材センターが市から受託し、利用者と協力者を繋ぐ紹介や相互援助活動の調整を行い子育て支援の充実に努めます。

(7) 独自事業

刃物研ぎ、おさらい教室は引き続き実施するとともに、新たな独自事業の開発を目指します。

(8) 就業情報提供

かわら版による就業情報提供のほか、電話での問合せ又はホームページ等を活用した情報の提供を行います。

2 会員組織の整備・充実、活性化

(1) 会員加入の促進

- ア 入会希望者に対し説明会及び登録手続き会を毎月第2金曜日に開催します。
- イ 水戸市の広報「みと」を活用し、シルバー会員募集の宣伝強化を図ります。
- ウ センター機関紙「シルバーだより」を年2回発行し、幅広く市民へ配布し会員募集の宣伝強化を図ります。
- エ 会員一人一人による口コミでのPR活動を推奨します。
- オ 女性会員の増強を図ります。

(2) 地域班組織の活性化

東西南北の地区組織においては、活性化と会員相互の連携の強化を図るため、地区役員会議並びに地区会員懇談会を開催します。

(3) 職群班組織の活性化

職群班ごとに全体会議を開催し、事例発表などにより情報を共有し苦情の無い就業を目指します。また、職群班内で技能の底上げ、後継者の育成に努めます。

3 調査事業

- (1) 役職員研修
公益社団法人として必要な知識を研鑽するため、全シ協、県シ連等が開催する研修会に参加します。
- (2) 先進地調査
先進事例の調査やヒヤリング・視察研修等を行い事業推進に活用します。
- (3) アンケート調査
就業提供の資料となるように会員の就業希望や能力（活用可能な資格）等を把握するアンケート調査について検討します。

4 相談事業

- (1) 入会説明会
新規入会希望者を対象に定例の入会説明会を行い、会員の増強を図ります。
- (2) 個別相談
会員の就業希望や一般の高年齢者の社会参加について、個別相談を行います。

5 研修・講習事業

- (1) 技能、接遇講習
親切・丁寧な対応、誠実・安心な仕事を通じてセンターの信頼を高めるため、職群別の技能や就業先におけるマナー向上を目指した研修・講習会を継続的に開催します。
- (2) 高年齢者活躍人材育成事業
県シ連と共催し高年齢者を対象に人手不足分野・現役世代を支える分野の仕事に必要な能力を身に付ける講習会を行い就業会員の育成に努めます。

6 普及啓発事業

- (1) 市報への掲載
市の広報「みと」を活用し、会員募集やシルバー事業の普及啓発を図ります。
- (2) 機関紙の発行
シルバーだより「梅林」を年2回発行し、うち1回は市内全戸に配布し事業のPRに努めます。
- (3) ボランティア活動
水戸市及び関係団体が主催する「水戸黄門まつり」「水戸の梅まつり」前の清掃や河川清掃に参加するなど公益社団法人としてのボランティア活動を推進します。
- (4) ホームページの充実
ホームページを適時更新し、各種事業の情報を広報するよう努めます。

7 安全・適正就業推進事業

- (1) 事故防止対策
安全意識の啓発等の活動を通じて事故発生抑止を図ります。発生した事故は、委員会で事故原因を究明し再発防止に努めます。
- (2) 安全標語等の表彰
会員から隔年で標語を募集し、優秀作品を表彰しスローガンとして掲げます。
- (3) 安全に対する講習
安全意識講習や機械取扱上の講習を実施し、安全意識の高揚を図るとともに、

交通事故防止に努めます。

(4) 安全・適正パトロール

安全・適正パトロールを実施しチェックシートによる安全点検を行い検証します。

(5) 定期健康診断の推奨

定期健康診断の積極的受診を推奨し、健康管理の向上に努めます。

(6) シルバー保険への加入

引き続きシルバー保険に加入し会員の不測の事態に備えます。

(7) 適正就業の推進

会員だけではなく入会希望者や発注者に対しても「適正就業ガイドライン」の周知と理解を推進します。

ローテーション就業やワークシェアリングを推進し就業機会を公平に提供するとともに、就業の適正化を推進します。

Ⅲ 法人管理事業

1 総会・理事会の開催

(1) 総会の開催

6月に開催し、前年度の事業報告、決算報告等を決議します。

(2) 理事会の開催

年4回の定例理事会及び必要に応じた臨時理事会を開催し、業務執行等について決議します。

2 諸会議、研修会等への参加

(1) 全シ協及び関東ブロック総会へ参加します。

(2) 県シ連理事会及び事務局長等会議へ出席します。

(3) 研修・講習会等へ参加します。

3 センター運営の効率化

(1) 補助金の確保

補助金の確保を目指して上部団体とともに、引き続き国及び水戸市への支援要請を行います。

(2) 特定準備資金等の積立

経営基盤の強化と経営安定のため、将来の特定の活動費用等に充てることを目的に、計画的な特定費用準備資金等の積立を推進します。

(3) 事務局の効率的運営

事務局職員の育成と事務系会員の有効活用及び適正な配置により、事業の健全な発展・拡充に向け、事務局運営の効率化を図ります。